



施設の老朽化が進む水田地帯における活動組織の設立

やぶきまち なかの め

矢吹町中野目地域資源保全会（福島県矢吹町）

やぶきまち

- 当地域は、小規模な集落で地域のまとまりが良く、地域住民による共同作業で施設の保全管理を実施していた。しかし、ほ場整備事業完了から約35年が経過し、水路・農道等の老朽化が進み、補修等の管理費の増加が問題となっていた。
- 集落内で話し合いを重ね、定年退職者の事務担当者を選任できたことから、多面的機能支払交付金の取組を開始することとなった。
- 全戸参加を基本とし、水路・農道・ため池の草刈り、水路の泥上げ、施設の補修等のほか、花いっぱい運動などの農村環境保全活動にも取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積 23ha（田 23.3ha）
- ・資源量
開水路 10.0km、農道 2.4km、
ため池 3箇所
- ・主な構成員
農業者、非農業者、婦人会、老人会、子ども会 等
- ・交付金 約1百万円（H29）
（農地維持支払
資源向上支払（共同））

施設の草刈り



水路・農道等の草刈り



水源として重要なため池堤体の草刈り

施設の泥上げ



水路の泥上げ



取水ゲート前の泥上げ

農村環境保全活動



老人会、婦人会、地域住民による植栽



婦人会と子ども会による植栽